

カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2011. 8- 1)

香川県水産試験場 藤原 宗弘
TEL: 087-843-6511

調査方法

調査日: 8月3日 時間9:00~11:30 (備讃瀬戸は8月2日)

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2定点

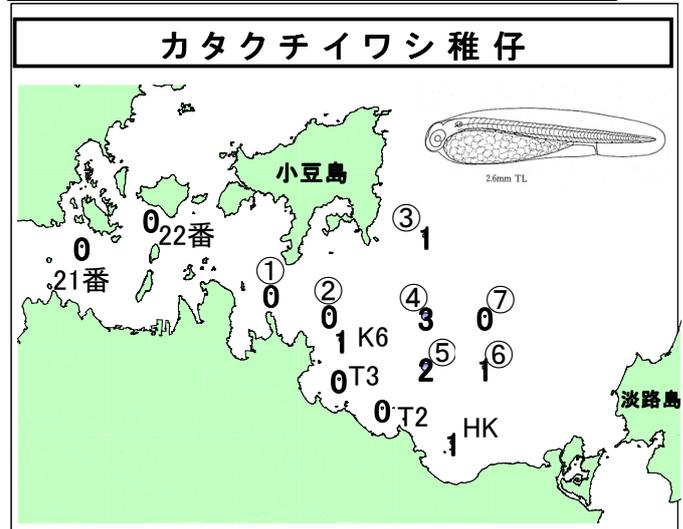
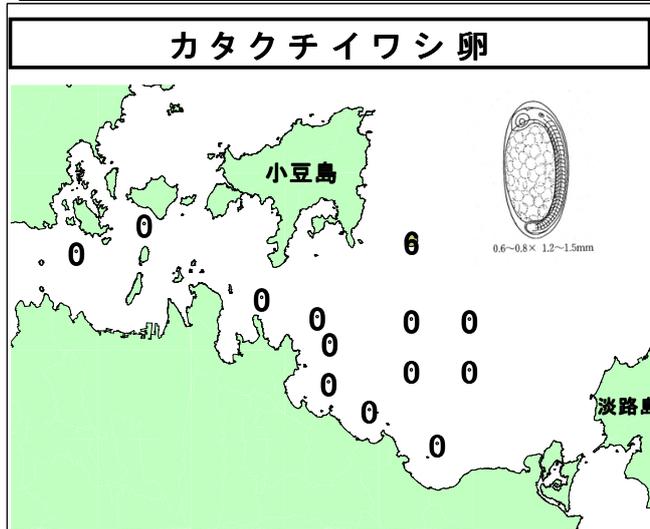
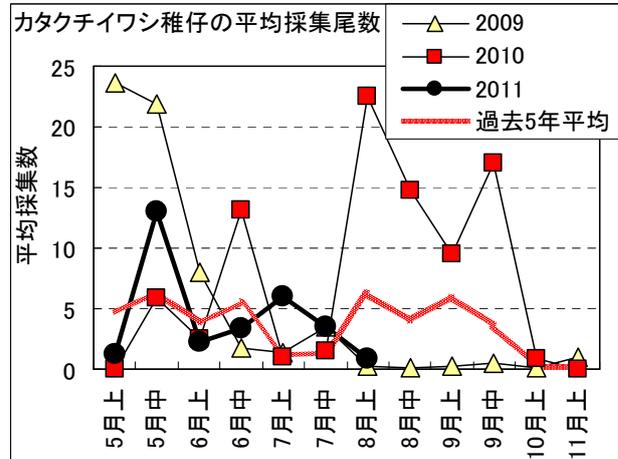
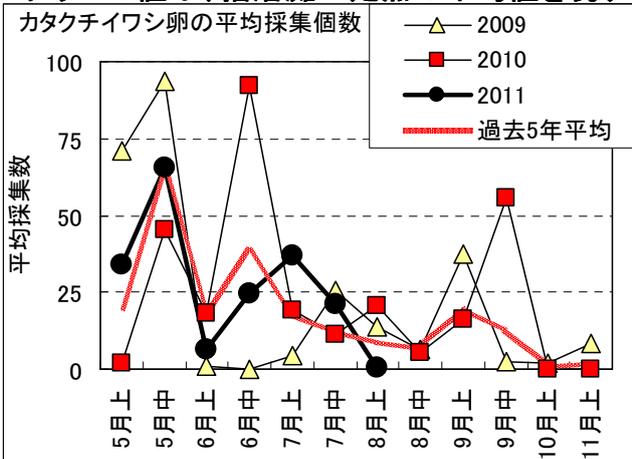
【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.8.5	0	0	1	0	0	148	1	1	0	0	1	0	0	0	13.8	10.9
2010.8.4	0	0	94	4	1	99	0	27	0	0	0	0	0	1	20.5	16.1
2011.8.3	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.5	0.5

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.8.5	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.2
2010.8.4	2	8	25	76	13	15	41	50	0	3	15	0	0	15	22.5	18.8
2011.8.3	0	0	1	3	2	1	0	1	0	0	1	0	0	-	0.8	0.7

- * 表中の「-」は未測定を表す。
- * 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸を除く)。
- * 13点平均値: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2定点の平均値を表す。
- * グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を現す。



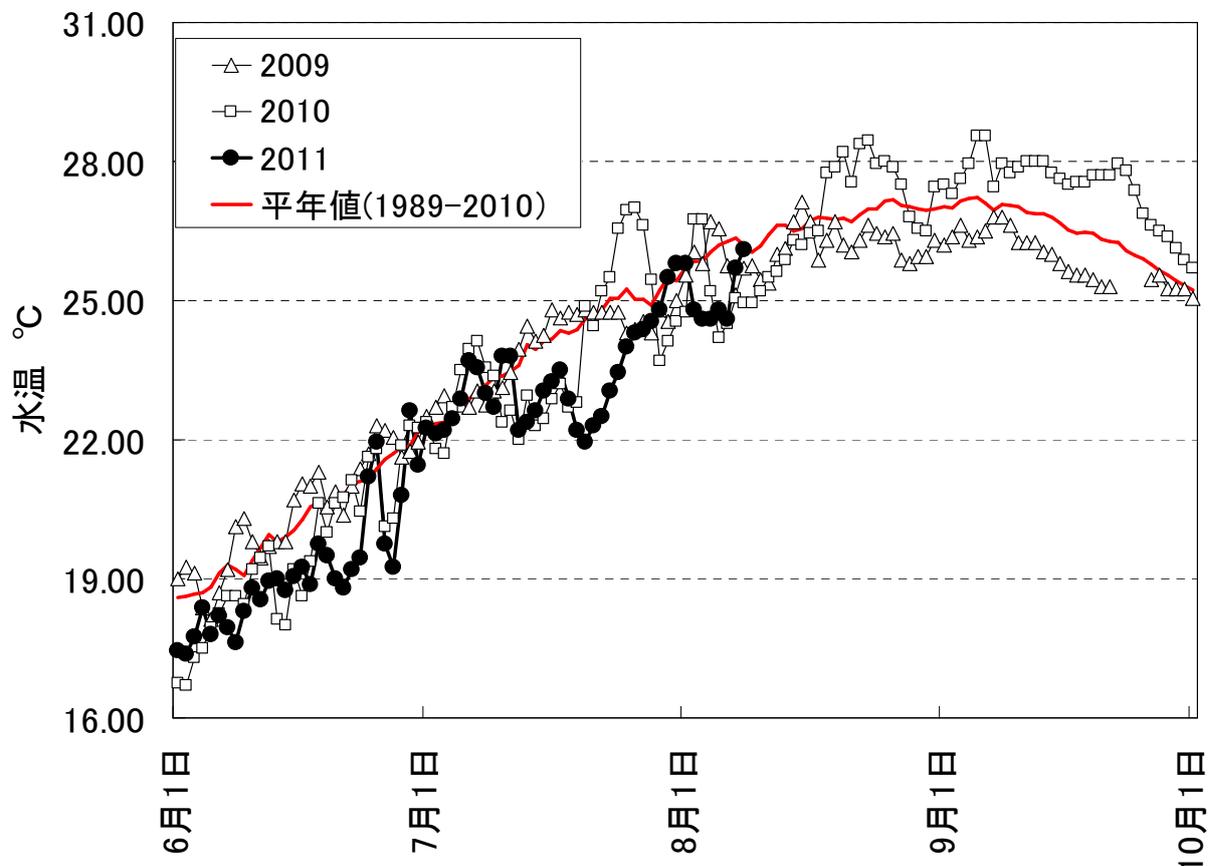
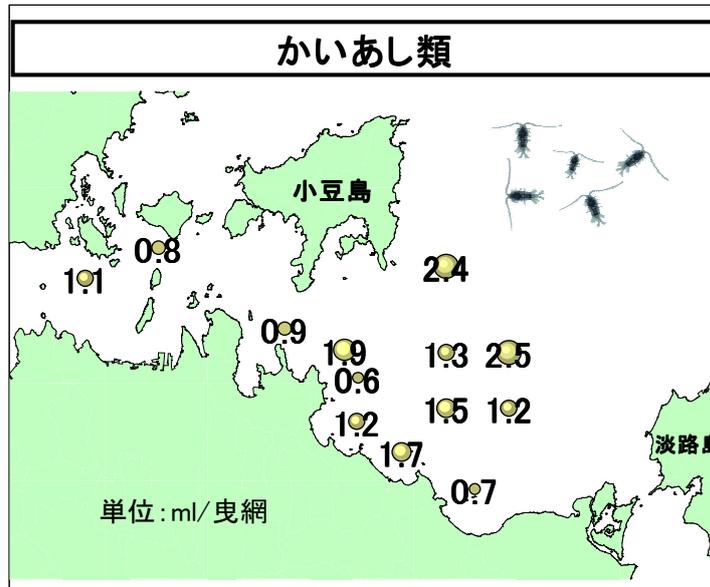
播磨灘11定点における卵の平均出現数は0.5個となり、前回調査時(7月15日)よりも少なく、昨年・平年同時期を下まわった。卵は沖合いの1点(③番)でのみで確認された。

一方、稚仔の平均出現数は約0.8尾となり、前回調査時(7月15日)よりも少なく、昨年・平年同時期を下まわった。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、7月中旬以降は平年より低めに推移しているが、8月に入ってほぼ平年、昨年並となった。

餌料生物として重要なかいあし類は、前回より増加し、11点の平均は1.01個体と前回の1.4倍程度に増加した。

【参考】



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>